

“Find-Your-Role-Model” Session

第 31 回（2016 年度第 7 回）

Guest

Melissa Piasecki, M.D.

Professor of Psychiatry, Department of Psychiatry
Senior Associate Dean
University of Nevada School of Medicine

2017 年 1 月 10 日（火） 11:55～12:45

@ M&D タワー8 階南、G-Lab

【“Find-Your-Role-Model” Sessionについて】

本学では、基礎医歯学/臨床医歯学/医療政策/医療産業など様々な分野において、グローバルな舞台で活躍する本学卒業生やリーダーの方々と在学中の皆さんとの交流イベント「Find-Your-Role-Model” Session」を、シリーズとして企画実施しています。将来のグローバルリーダーを目指す皆さんが、皆さんの先輩やリーダー達との交流（形式問わず、皆が遠慮なく発言できる、座談会形式）を通して、刺激を受け、そして自らのよきロールモデルを得て、今後のキャリア形成に活かしていただくことを目的としたものです。

【第7回について】

2016 年度第 7 回目の FYRM セッションでは、ネバダ大学医学部精神科教授で、医学部上級副学部長も務めていらっしゃる、Melissa Piasecki 先生をゲストとしてお招きします。Piasecki 先生は、ワシントン大学医学部を 1991 年にご卒業後、バーモント大学にて精神科レジデンス、ハワイ大学にて司法精神医学フェローシップを修了されました。現在は、医学部執行部業務に加え、精神科診療、そして大学では医学生や研修医の教育、裁判所では精神鑑定と、多岐に渡る分野で活躍されています。まさしく医学において“三足の草鞋”を履かれる Piasecki 先生ですが、ご家庭では二児の母としての一面も。今回のセッションでは、前半に「アカデミアで活躍する女性の家庭と仕事の両立」と題したプレゼンテーションをしていただき、後半は座談会形式で以下の点を中心に議論したいと考えています。

- 医師としてのキャリアと家族/家庭を両立させるために・・・
- 仕事において困難な状況に直面した時には・・・
- ワークライフバランスを実現させる上での大学/病院(職場)/社会の役割とは

【対象】

- 学科・専攻・学年を問わず、どなたでも参加いただけます
- 大学院生・医員・教員の方も大歓迎です

多彩なキャリアとご家庭を両立される Piasecki 先生は
まさしく“現代のロールモデル”。
精神医学分野に関心がある方はもちろん、
将来のワークライフバランスを考える方にとっても、
貴重な指針となるセッションです！

【セッションの形式】

- ゲストの紹介の後、ゲストによる 25 分ほどのプレゼンテーション（上述）を行い、その後参加者と意見交換を行います。
- 使用言語：英語

【参加方法】 事前登録制

- 参加を希望される方は右記サイトより
1/6（金）23：59 までに参加登録を行ってください。→



Dr. Melissa Piasecki

【問い合わせ】

統合国際機構事務部 国際交流課グローバル化推進係
電話：4964 E-mail: global.adm@tmd.ac.jp

詳しくは右記サイトをご覧ください。 <http://www.tmd.ac.jp/global/> →

